

# 新山協ニュース

新潟県山岳協会ホームページ <http://www.echigo.ne.jp/~nma/>

会長 橋本正巳  
 新潟県山岳協会  
 上越市南城町2-3-37  
 TEL 025-524-7215

事務局 諏訪恵一  
 長岡市高畑町610-10  
 TEL 0258-35-4373

編集 新山協ニュース編集  
 委員会代表 浅野巨寛  
 TEL 0258-52-3998

## 第60回岡山国体報告

山岳強化総括責任者 渡邊正之

### 少年女子縦走競技3位

#### 4年連続入賞を達成

### 成年男子クライミング競技11位

#### 惜しくも決勝進出を逃す

10月22日に岡山県真庭市を中心会場に開催された国体山岳競技は、25日のクライミング競技の決勝戦で幕を閉じました。

少年女子は縦走競技で今年も入賞して3位になりました。3年前の高知国体で4位、次いで静岡でも4位、昨年の埼玉で5位でした。これで4年連続入賞したことになります。

小林由貴選手が練習でコースを回った最初は、規定重量を背負って55分ほどかかりました。2回目の岡山合宿に入ったときには4分縮まり51分、今回の本番では50分を切り4分で、僅差で個人4位でした。

昨年引き続き出場した恩田悠選手は最初がなかなか調子が上がらず、富山での北信越国体ではとうとう3年生の春

も入賞して3位になりました。途中で4〜5人抜いたので、チーム3位の原動力になりました。

日選手が出場しました。国体1週間前の岡山合宿で54分の記録を出して、小林選手に迫りました。本番ではスタートで出遅れたと見えますが、途中で4〜5人抜いたので、チーム3位の原動力になりました。

クライミング競技では、五十嵐祐子選手と小林由貴選手が壁に挑みました。ふたりとも練習量が少ない中で精一杯奮闘しました。例年、6mくらいの高さまででは誰でも登られる様にホールドが設置されています。この大会では高さ3m部分から難しくなっていて、何人かは登りはじめから苦戦している様子が見られました。まったくの初心者である小林選手はよく頑張りました。

成年男子もクライミング競技で健闘しました。11位です。競技会場で発表された成績表では丁度8位になっていて、ぎりぎり決勝進出なるかと期待が集まりました。しかし、最後の班で登った埼玉県に抜かれ9位になりました。予選終了後、審判員のビデオによる再チェックがあつて予選での最終成績が決まります。結果は最悪となりました。平嶋元選手がハンガーを踏んだと判定されて、到達高度を1段階下げられてしまいました。29Nだったのが、28Nとなつてしまったのです。平嶋元、岩橋由洋の両選手は来年の兵庫国体に再挑戦して入賞を果たすと、今から固く誓っています。選手のプロフィール紹介を担当していた東秀磯ルートセッターは、平嶋・岩橋両選手のことを全く知らないらしく、選手本人提出のプロフィール用紙をマイクで棒読みしただけであつた。これからはふたりの選手に各種大会に出場してもらい、好成績をあげて新潟に平嶋と岩橋ありと名前を知られるようになって欲しい。

縦走競技には、埼玉に続いて平嶋元選手が2回目の出場、石川泰選手が初挑戦しました。この日は前日からの雨が激しく降り続き、スタート地点から見上げる山頂は濃霧にかすんで見えません。成年男子今井浩二監督から連絡があつて、軍手を2組用意して選手に渡すことになりました。新品にこだわらなければ車のトランクの中の軍手で間に合います。会場周辺の蒜山高原や指定宿舎の湯原町には、コンビニやスーパーマーケットのたぐいは全くありません。新品でなければだめといわれたら、どうなっていたでしょうか。平嶋選手は昨年悔しい思いをしています。17kgの負荷重量を背負ってゴールしたところ、規定時間100分を3分ばかり過ぎていました。規則では規定時間を2倍した時間が正式記録として残ります。今年には規定時間内にゴールして80位でした。立派なものです。石川、平嶋選手は泥だらけになり、応援していた私達も10度以下の気温でふるえていました。夜はさらに3度以下になりました。晴れの国岡山国体の看板に大いに偽りありです。



成年男子 縦走競技 36位 66.623点

|      |             |      |             |
|------|-------------|------|-------------|
| 石川 泰 | 1:00:01 62位 | 平嶋 元 | 1:15:02 80位 |
|------|-------------|------|-------------|

クライミング競技 11位 68.750点

|      |     |      |     |
|------|-----|------|-----|
| 平嶋 元 | 28N | 岩橋由洋 | 27N |
|------|-----|------|-----|

少年女子 縦走競技 3位 94.904点

|      |            |      |             |
|------|------------|------|-------------|
| 小林由貴 | 0:47:48 4位 | 恩田 悠 | 0:54:52 15位 |
|------|------------|------|-------------|

クライミング競技 13位 34.251点

|       |     |      |    |
|-------|-----|------|----|
| 五十嵐祐子 | 23N | 小林由貴 | 9N |
|-------|-----|------|----|

今回大会本部指定された宿舎は、成年・少年とも値段の高いホテルでした。少年女子の水落電馬監督はホテル2階の部屋、選手は4つベットのがあるコテージです。成年は7階建ての大きな国際観光ホテルです。料金は国体宿泊最高ランクDの1泊12,000円かかりました。それなのに大会前日に泊まった今井監督からは、食事の質量ともにお粗末でお腹がすいて眠れなかった。今晚はぜひ差し入れを頼むという悲痛な言葉をいただきました。早速手配に走りまわりましたが、宿舎ホテルのある湯

原温泉街にはスーパーもコンビニもありません。谷沿いに車を進めて勝山町に行きました。やっと大きなスーパーが見つかり、プラスチックご飯詰めの放題4個、トンカツ、サラダ、焼き魚4パックずつなどを買い込んでホテルに届けました。成年・少年のホテルの温泉風呂だけは評判が良かったようです。

富山の北信越国体の時から練習や大会に、十日町で療術センターを開院している金子信義トレーナーに同行してもらっています。競技前に選手

の躰をもみほぐしてもらい、競技終了後に再びマッサージします。競技前は緊張もほぐれるし、走ったり登ったりした後には疲れが軽減されると選手には好評を博しています。来年もこのやり方を続けたいものです。

第41回

自然保護研修会に参加して

工友会 多田 政雄



菱ヶ岳山頂の祠の前で

た事、9月には県の自然保護係と会合を持ち、飯豊・朝日の山小屋のトイレ問題・裸地化問題・盗掘問題・上流水質調査、等について意見交換が行われた旨、活動状況の報告があった。

その後地元で毎年、越後田舎体験や春先のブナ林案内とクロメダカやスジエビの養殖など、自然保護の啓蒙活動に従事しておられる、安塚自然友の会の「秋山和喜氏」を講師に迎えて、「安塚町の草花」と題したスライドによる講義に入る。

冒頭、安塚を代表する菱ヶ岳の山名の由来について説明があった。北斜面に春、白い馬の残雪が現れるが、名前は北西側の菱形の山容から来るとの事。

早速、草花のスライド説明にはいり、ミスミソウは雪割

草とも言われ、花弁と思われる所が「がく萼」で形や大きさも色々で淡紫色〜淡紅色と白色の3色がある。変種で八重の花もあり、3月上旬から見頃となる。

カタクリは下向きに咲き、一片が開き次に全開し花弁が反り返る。花弁は6枚が普通だが7〜10枚も見つかっている。色は赤紫色〜淡い赤紫色で色変りの白色もあり、花弁のWの線が良く解る。種と球根で増えるが、庭に植えても数年で無くなる。

2002年第1回カタクリサミットが安塚で開催された。「コシノコバイ」は近年、杉林の手入れが悪く少なくなってきた。「コシノカンアオイ」は葉の裏にギフ蝶が好んで卵を産み付けている。「キクザキイチリンソウ」の萼片は5〜6個、長円形で変化があり紫〜白色がある。「アズマイチゲ」は一本の茎に1輪の花をつける。「ミドリバナ」はシラネアオイとも言われ、淡青紫色から紅紫色、たまに白色も見られる。「アザミ」は白花と赤花アザミが

有るが、種を採取し、花を咲かせ突然変異かどうか確認で





二段に落ちる不動滝 (横山征平氏撮影)

きる。「ササユリ」は葉形が笹に似ている、安塚では大分盗掘された。「ヒトリシズカ」は崖の崩れたような地形に生え、花穂が一本のものを(一人静)とよび、花穂が2本だと(二人静)と呼ぶ。「ハクサンオミナエシ」は農薬の他、環境被害で少なくなっている。「ウチヨウラン」は山地の岩場等であり、菱が岳では火炎石に植生が見られる。「シヨウブ」は5〜6月にガマの穂に似た花が咲くが、一個一個の小さな花の塊で出来ている。「ザゼンソウ」は花が咲き、後に葉が開く。「ヒメザゼンソウ」は秋に花が咲き「ナベクラザゼンソウ」はH14年に新種と確認され、5月頃に葉

と花が同時に開く。寄生植物の「ギンリョウソウ」は幽霊草とも言われ、葉緑素を持たない。「ナンバンギセル」はミョウガ畑やススキにも寄生する。「オノノヤガラ」は光合成しない。「シヨウキラン」はナラタケ菌に寄生し沢筋に多くでる。「ツチアケビ」の名前の由来は果実がアケビに似ているところから来ている。「ヤドリギ」は安塚町に3種類ある、等々、解りやすいスライド解説で講演が終了した。この後、恒例の懇親会は持ち込みの銘酒を用意された、具沢山の豚汁を囲み、横山監事の乾杯の音頭が始まり、時間と共に盛大に盛り上がった。翌16日は霧と小雨模様の中、

27名が菱ヶ岳自然観察登山に出発する。途中ゴンドラ終点で集結し、この先、霧で見通しが悪いのでコースを外れないようにと、リーダーからの指示がある。ゲレンデから登山道に入り、ブナ林の中をしぼく登ると一等三角点の山頂に着く。祠の前で全員の記念写真を撮る。

相変わらず小雨と霧で視界の悪い中、立派なブナ林をしぼく下ると突然、舗装した国道に飛び出す。いつの間にもやら雨も上がり、不動滝を見物に行く急な下りを行くと、ブナの紅葉の始まりかけた林の中に2段になって、勢いよく流れ落ちる滝が素晴らしかった。

帰り際マグマが地層を破って出てきた岩塊と言われている火炎石に立ち寄る。深まり行く秋を満喫し、出発地到着11時。

本間委員長の閉会の挨拶で散会となる。

今回はあまり天候に恵まれなかったが、豊かな自然に接する事が出来、有意義な研修会だったと思います。参加の皆様ご苦労様でした。

### 山と自然環境保護に日々精進

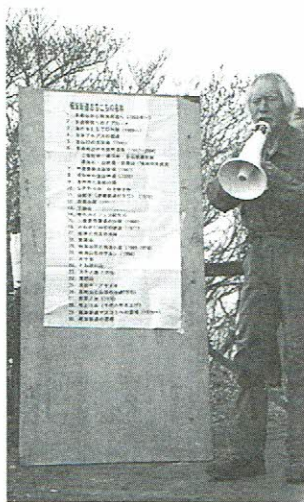
## 藍綬褒章に輝く

渡辺竜吉さん 関川村山の会



指導中の渡辺さん

### 小野 健さん さわがに山岳会



指導中の小野さん

両氏とも長年、その地域を自然保護の思想に基づき、その普及への尽力。登山者への献身的な安全指導に貢献された。その自然公園指導員としての、功績が認められ、今秋

11月2日付発表となり、今回の受章となった。

◎渡辺竜吉さん (73)  
岩船郡関川村上関3000-3

◎小野 健さん (72)  
糸魚川市青海町須沢3803



### 道標 ③

快適な登山。グループ：集団登山のリーダーは、もう一度、救急法について研修しておこう。

長岡ハイキングクラブ 藤井 信

(2) 外敵編 スズメバチに刺されたとき、マムシに咬まれたときに備えておこう。

夏から秋にかけて、スズメバチの巣が大きくなると、ハチは巣を守る防衛本能が強くなり、攻撃的になります。

ハチがエサを探っているところや、巣を見つけても近ずいたり刺激を与えないことです。不運にして、スズメバチに刺されたり、マムシに咬まれた場合、医師の手当てを受けるまでの応急処置として、市販品で携帯便利なポイズンリムーバーが必需品です。

せめてパーティーの装備として携帯を



マムシ

すすめたい。体内に入った毒液や毒針を吸引作用で抽出する器具です。応急処置をすませたら一刻も早く医師の診察を受ける事です。

黒い服はスズメバチの攻撃性を高めると云われています。夏から秋にかけての黒っぽい服装は避けたほうが無難でしょう。

## 中国青海省に旅して

新潟楽山会 桜井 正一

春、片桐理事長より、「二年後に新潟県山岳協会が中国の山を計画しているのだが、モルモット調査隊として一緒に行かないか」と声が掛かり、片桐さんに付いて行けば何も心配する必要もないと、軽い気持ちで楽山会の仲間4名で参加させていただいた。

中国語と言えば、ニイハオ・シェンシェ・くらいしか知らない、まったくの珍道中。片桐さん、老人の小学生の引率で困ったのでは、と思つて居ります。はたして、モルモットとして役に立ったのか不明です。

中国に行つてみて先ず驚いたのがその広さ。左右に山並みを見ながら、何処までも続く道路。又全然山も見えず、ただ前方の丸い地平線に向かつて、いつ目的地に着くのか見当もつかない大平原、大平原の中を走る一直線の道路。その道路を悠々と横切る何百頭の羊の群れ。タクラマカン砂漠の中にポツンと有るパオの集落、その脇を蛇行しながら音もなく流れる小川。空を見

上げればもう秋との事、どのように形容してみようもない雲の模様。ゆったりとした時間の流れ、悠久の時とは、こらうゆう事かとの思いを幾度も味あわせていただきました。

鄧海平秘書長始め青海省登山協会の皆様、素晴らしい人達で、いかに私達をたのしませるか、だけではなく自分達も一緒に楽しむのだ、とゆう態度で接していただき、皆さんに前から何回もお会いしているような錯覚をおぼえました。

ガーデンパーティーでは、チベット音楽の流れる中、フォークダンスなのか、盆踊りなのか全員、輪になって踊りはじめ、いつのまにかモルモットも輪の中に融け込んでしまいました。又、元秘書長の呉延義さんのご招待を受けたとき、呉さんがマイクも使わず、日本語で、「北国の春」を歌ってくれた事、等々本当に楽しい思い出ばかりです。又、鄧海平さん自身、十二日間、ご自分の仕事の都合を付けられ、自宅にも帰らず、ずっと私達



大草原の羊たち

と行動を共にしていただき、本当に感謝して居ります。青海省湖畔のホテル「信越山荘」で、そのホテル設立に協力した人達の名簿のボードが有りました。その中に新潟県山岳協会、始め各山岳会及び協会関係の個人名、最後に新潟県中高年登山委員会の名前、名簿を見ました時、新潟県山岳協会の諸先輩の方々と、青海省登山協会の皆様の永年になわたるご苦労のおかげで、今回私達は楽しませて頂いたのだと、遅時きながら、気付かせて頂きました。今まで培って来たこのキズナ、いつまでも大事に育てて行かなければと、思いながら帰ってきました。



# ★由衣ちゃん最年少で深田百名山を踏破★

柏崎市在住の大倉由衣ちゃん(小6、12歳)が最年少で百名山を踏破して、新聞、山岳雑誌で話題になったのは耳新しい。山への手ほどきをし、山行もよく共にした、祖父である大倉 征さん(柏崎山岳会)より喜びの一報が入ったので紹介する。

## 県山岳協会の皆様へ

柏崎山岳会 大倉 征

このたび私の孫娘が、日本百名山を踏破いたしました。この事について、県山協の皆様から祝福や激励を頂き、先ずもって厚く御礼申し上げます。

小さい時から二人の孫を両

親や私がよく登山につれて行きました。父親(私の息子)よりも母親が山好きで、その方が計画もスムーズにいったようにおもいます。

由衣が小1の時、家族五名で燕岳に登り、翌日、東沢で下山の際、降雨となって、増水する沢を下った時、丸太の橋から、由衣が足をふみはずし、母親が厳しく叱りつけていました。

三十座目が04年、由衣が小

四の時、祖父、祖母、孫二人で大雪山など四座に登り、トムラウシは私と由衣二名で大雪山から往復、「辛かった」と今でも言います。

百座目は黒部五郎岳でした。九月二十四日、快晴のなか家族四名で山頂を踏みました。

三俣蓮華岳、双六岳から双六小屋では、一日遅れで新穂高温泉から登ってきた母親と祖母が、すでに双六岳も登り、待っていました。親子、孫三代が揃い祝いました。

翌日下山しましたが、私と妻は折角きたのだからと弓折

から笠ヶ岳を縦走。満天の星、槍の肩から昇った、ご来光を見て笠新道を下りました。

由衣は現在の心境として「今度はゆっくり花や動物に親しんで登りたい」と言っています。また山で皆様にお逢いすることもあると思いますので、その節はご指導を頂きたく存じます。

県山協のご発展と皆様方のご健勝をご祈念申し上げます。「県山協ニュース」に掲載していただき有難うございました。



凝灰質安山岩のカルデラ火山壁より成る穂高連山

## 山と岩石

さわがに山岳会 小野 健

### ④8 北アルプスのカルデラ火山と隆起

日本アルプスは、日本列島中央部の山岳地帯を形成する、飛騨・木曾・赤石・の三つの山脈の総称である。

飛騨山脈は北アルプスと呼ばれ、顕著な隆起を始めたのは、230万年前といわれている。同時代には、カルデラ火山や玄武岩火山など現在の乗鞍火山列とは異なる型の火山活動があった。花崗岩系の軽いマグマが地殻の浅いところまで浮上して、隆起したが、130万年前には、プレート運動による東西圧縮に変わって活動がはじまった。この圧縮活動が強くなると、マグマ上方の地殻が破断して逆断層が生じ、飛騨山脈の東部が西にせり上がってカルデラ火山が東に大きく傾いた。現在の槍や穂高連峰は、東傾で押し上げられたカルデラ壁の西縁といわれている。爺ヶ岳・鹿島槍も傾動カルデラ壁の一部であるという新説が話題となっている。

皆さんお馴染みの北アの間々は、100万年前後の新しいカルデラ火山と隆起によって形成されたものだ。

## 海外・国内旅行、主催・手配



### ユニオン航空サービス

国土交通大臣登録旅行業第052号 JATA代理店 (株) 日本旅行業協会会員  
本社 新潟県長岡市東町1丁目2番5号

<http://www.uks.co.jp>

- ☐長岡営業所 〒940-0084 長岡市東町1丁目3番5号 ☎ (0258)33-7123  
一級旅行業取扱主任者 森 謙樹
- ☐新潟営業所 〒950-0916 新潟市東山3丁目2番11号 ☎ (025)246-2266  
一級旅行業取扱主任者 中島 健



# 国体カンパ御礼

平成17年国体では皆様からのご支援を頂き、選手・監督も実力をフルに発揮し、優秀な成績を収めることができました。次の方々よりカンパを頂きました。ご報告すると共にお礼申し上げます。

外山禎一(山友会99) 橋本正己(高田HC) 土田幸雄(長岡HC) 北村猛(工友会) 藤井信(長岡HC)

(順不同、敬称略)  
事務局

## 賛助会員入会のお祝いとお礼

日頃、県山岳協会の事業について、参画して頂き格別なるご支援を賜りありがとうございます。当協会は、登山を通じて、県民体育の向上と加盟団体相互の親睦和をはかることを目的として、委員会を設け下記の事業を行っております。本事業を実施するに当たっては、加盟団体の分担金で賄っております。しかしながら、十分な財源を持って実施されていると言う状況ではなく、場合によっては担当各位のボランティアで活動して

## お・知・る・世

### 新潟県山岳協会 新年会開催

山岳会各位におかれましてはいつも協会の事業について、参画され、格別なるご支援を頂き有難うございます。新年会のご案内について、宜しくお祝い申し上げます。

◇期日平成18年1月21日(土)  
午後2:30受付開始  
☆新年会3:00~開宴  
尚、同場所にて理事会を開催します。  
時間は後日連絡。

### ◇会場

ホテルニューオータニ

長岡市台町2-8-35 長岡  
TEL0258-371111

◇会費 ¥6,500(当日)  
◇締切 平成18年1月15日  
◇申し込み 七沢 恭四郎  
〒943-0154  
上越市稲田4-12-31  
Tel&Fax 025-523-7661

◇申し込み 七沢 恭四郎  
〒943-0154  
上越市稲田4-12-31  
Tel&Fax 025-523-7661

◇申し込み 七沢 恭四郎  
〒943-0154  
上越市稲田4-12-31  
Tel&Fax 025-523-7661

◇申し込み 七沢 恭四郎  
〒943-0154  
上越市稲田4-12-31  
Tel&Fax 025-523-7661

### 皆さんへのご挨拶

新規加入山岳会紹介  
☆新潟市新津支所職員山岳会  
代表 藤田 善英  
☆事務局  
〒956-0832  
新潟市新津秋葉3-1-8-1  
大塚 功様方

賛助会費  
年額 10,000円  
新潟県山岳協会  
会長 橋本 正巳  
理事長 片桐 一夫  
総務委員長 七沢恭四郎  
〒940-0154  
上越市稲田4-12-31  
Tel&Fax 025-523-7661

10月末日現在  
上越市稲田4-12-31  
Tel&Fax 025-523-7661

七沢恭四郎  
Tel&Fax 025-523-7661

## 編集こうき

▲春、会報編集担当を引き受けて、今回で8回の発行となる。もう8回なのか、まだ8回なのか、呑気者の私には、感覚的には微妙なところだ。任期は後1年余り、あと16回は確実に発行せねばならない。会報編集の仕事にかこつける気はない。年のせいにもしたくは無いが、時間経過の速さだけが気になる。しかし今日は何をしただろう。

▲時節柄、協会事業もひと段落、原稿を送ってくれる方々、持参、協力の方々に感謝です。只、紙面のスペース、協会行事の関係で紀行文等の掲載が遅れているのは、心が痛みます。もう少しのご猶予を下さい。先日は副委員長から遠いところ、わざわざ原稿を届けて頂いた。打ち合わせ後しばし歓談。

▲ほとんど日課となっている、1031段の階段へ行く。色彩豊かな落葉を敷き詰めた階段を登り切ると、守門が白い。今年もカービングスキーには縁がなさそう。当分は、くびれない、古い付き合いの秀山荘の山スキーだ。

会報編集 浅野

## 登山・アウトドアの専門店



新潟市東大通2丁目5番1号 ☎(025) 243-6330(代)

## 登山・ハイキング・クライミング テレマーク&山スキー



パーマーク  
長岡市西宮内2-97(長岡市役所裏通り)  
TEL0258(37)1200-FAX0258(33)1164  
●営業時間/AM10:30~PM8:00水曜定休

http://www.parrmark.co.jp